

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input checked="" type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input type="checkbox"/> 防災・減災	<input checked="" type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input checked="" type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> その他（食育）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、「子供の笑顔があふれる幸せな学校」を学校教育目標として、ESDを「子供がまちづくりに参画・貢献する力や態度を身に付けるための教育」と捉え、ESDの実践を通して、未来像を予測して計画を立てる力、豊かなコミュニケーションを行う力、他者と協力する態度、進んで参加する態度の育成を目標としている。

具体的には、フラワータウンプロジェクト、食育を柱にした体験型の地域学習を行なった。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 「フラワータウンプロジェクト」の花を通して地域の持続発展に関わる学習

具体的に5年生では大正地域の方々やこの活動に賛同して下さる方々とともに国道沿いのロータリー花壇に花を植えて世話をし、人の心にも花が咲くようなまちづくりを目指して取組を進めた。自分たちで育てた花づくりを進めていく中で、いつからこのプロジェクトが始まったのか疑問を抱き、解決していくために、地元の花屋さんにGTとして来校していただきフラワータウンプロジェクトの歴史を話していただいた。その話を聞き、今年で10周年になることを知り、今後自分たちにできることはないかと持続可能な花壇にしていくために考えていった。

持続可能な花壇としてこれからも何十年も続けるために、この花壇をたくさんの人に知ってもら



うことが大切だと考えた。そして、自分たちの花壇について発信することが必要と考え、花壇コンテスト（福岡県ガーデニングカップ）に応募したり、大牟田市 SDG s /ESD 子どもサミットにて取組を発表したりした。

また、昨年度に引き続き松原中学校区において、児童会・生徒会を中心に自分たちで育てたお花を3校それぞれで交換し、「花」を中心にした連携を深めることができた。



○ 全校の食育活動を通して、生産と消費について考える学習

本校では、大正小学校「フラワーカレンダー」を基に、全学年花壇に花を植えるだけでなく、学年の実態に応じて教科等と関連させた野菜を植えて収穫するなどの活動を見通しをもって取り組むことができた。

1年生はさつまいも、2年生は夏野菜、3年生はキャベツ、4年生はツルレイシ、5年生はスイカ、6年生はさつまいもといった食を生産する食育に取り組んだ。

委員会活動では、育てた野菜を地域の子供食堂に寄付し喜んでもらった。

全校「花壇の日」の時間や教科と連携して取り組んだことで生産の大変さや収穫の喜びや食を大切にすることを学んだ。

食育の学習を通して、食のありがたさについて再認識し、残食率が減るなどした。



3 今後の活動計画

子供がまちづくりに参画・貢献する力や態度を身につけるための教育をより一層推進する。そのために、SDG11、SDG3、SDG9、SDG15、SDG17を目標に

1. 「花でつながる心あたたかいまちづくり『フラワータウンプロジェクト』」
2. 「食育を通し（食事の重要性）（感謝の心）（心身の健康）（社会性）4つの力を養う」

の2つの教育プロジェクトを柱とし、子供が社会とつながりながら主体的に学び、行動するカリキュラムの充実を図る。

また、これまでの伝統は今後も継続しつつ、さらに充実した活動となるよう工夫をしていく。